



往還通信

第120号

ホームページ <https://miekenjukai.com>

社会福祉法人 三重健寿会

〒510-8103 三重県三重郡朝日町大字柿字熊之田564番地

R5.8.11発行

E-mail oukan@ccnetmie.ne.jp

特別養護老人ホーム 往還

Tel (059)377-6011 Fax (059)377-6001



七夕レクリエーション



藤・蔦ユニットでの七夕イベント

7月7日、星に祈る日本のお祭り行事。
 少しでも皆様に夏らしさを感じて頂きたい
 と思い、沢山の浴衣や甚平の中から自分好みの
 物を選んで着て頂きました。浴衣や甚平を着
 ると皆さん顔が笑顔になり嬉しそうにされて
 いました。

お昼の七夕ご膳は浴衣や甚平を着たまま皆さ
 んで集まり食べて頂きました。



ユニット紹介

白梅・水仙ユニット

東3階の利用者様は、活発に動かれる方が多くユニット内の
 飾りのお手伝いやボール遊び、ぬりえ、編み物などレクリ
 エーションを楽しまれる方がほとんどです。

毎日レクリエーションをできる訳ではないですが折り紙など
 で季節の物を職員と一緒に制作したり、片方のユニット又は
 パブリックスペースへ皆さんで移動してボール遊びやおやつ
 作りなどをして楽しんでもらっています。



アンチエイジング。姉の長女がこれを「専門」として開業医をしている。これが医療の範疇に入るかどうかは別にして、一つの老化への対抗である。最近、私も顔面にシミが多くなり眉毛は長く癖毛である。又、頭頂の毛髪が薄いことが気になる。後方から撮影した写真を見て気が付いた。頭髪に櫛を通すとき前方から見るだけだと気が付かない。薄いことによる最大の欠点は頭部に怪我をし易いことである。対策は帽子を被ること。コマーシャルでアデランスが植毛や“かつら”を勧めている。私が学生時代、ドイツへ留学した者がいた。ドイツで男性は30代半ばになると禿げるのが当然で、誰も気にしていないという。“かつら”も病気等以外は使われてないようである。明治時代の断髪令以前の月代（さかやき）及び“ちょんまげ”は武将が兜を被るとき蒸せないようにとの意味があるとのこと。頭頂の髪の毛の束により兜の内側と頭皮の間に隙間ができるからと思いきや、兜をかぶる時は“ちょんまげ”を解き、ちょうど落ち武者の典型的髪型、月代に髪の毛を結ばず下がったままの状態にするとの情報もある。今話題のchatGPTに「相談」とすると「蒸れない」は出てこず、「兜が適切にフィットしやすくするとともに、顔をすっきり見せる」また、「身分や地位、所属する藩や流派を示す」と「返事」があった。月代は藩によって行ってなかったところもあるが、総じて戦国時代は広く、江戸時代後半はやや狭くなった。沖田総司や月形半平太（架空）は極端に狭い。そして、男性が元服時に前髪を切り月代にすることを考えると、ちょうど禿げの状態が一人前になった証であったのかもしれない。日本でのアデランスの「禿に劣等感を感じさせ購買意欲を惹起させる」宣伝は問題あるのではないのか。女性の場合、いつまでも化粧を忘れないことが若さ元気の秘訣であるという。

朝日小学校同学年男性50名弱のうち8名が亡くなっている。この1年間で3名亡くなった。令和3年度男性私の年齢72歳の平均余命は14.51年である。女性72歳の平均余命は18.59年である。平均寿命の男女差は約6年である。寿命と余命の男女差に約2年間の差がある。健康寿命については令和元年のデータを補正すると、令和5年度で男性73.7歳、女性76.1歳である。

このようなデータを見ると、往還に住んでいるご高齢者がいかに果敢に生き抜いてきたか実感する。介護認定を受けた本人、肉親が認定を受けた家族。皆がそれぞれの人生を歩み、また歩み続けている。激しかったり、厳しかったり、心ならず対立したり、誰も穏やかであり続けてはいない。施設における介護職員、事務職員は日々、目の当たりにしている。しかし、今後は無理せず往還にて穏やかな日々を全うしてもらいたいものである。暫く、それを展開したい。





激安ツアーで「ふらのオムカレー」を食す！

JALのお値打ち航空券で富良野・美瑛に行ってきました。ホテルは札幌に2泊し、なか日は特に予定が無かったので札幌発のツアーバス「ふらのオムカレー昼食付（旅行支援割後）4400円（おまけに旅行支援で2000円のクーポン券付）」に申し込みました。

ベストシーズンに訪れるのは本当に久しぶり（10数年ぶり？）であまりの人の多さと暑さで驚きました。

富良野はラベンダーも見頃をむかえとても素晴らしい風景でした。

また、美瑛の青池も相変わらず美しくただただ感動です。

しかし青池で一番驚いたのは設備面がかなりバージョンアップされていた事です。大型バスなどが駐車できるよう整備され駐車料金も発生するようになっていました。売店も出来ていて青池名物？「青いソフトクリーム」が驚きの500円？びっくりしました。以前は砂利駐で無料だったと思います。ガイドさんが言ってみましたが、これだけ観光客が増えているのでお金が取れると思った美瑛町が整備をしたようで町の観光収入が増えたようです。やはりインバウンド効果？SNS映えという事もありスマートフォン片手の外国人もかなりの人数の方がいらしていました。（日本人より多いかも？）

昼食はふらの名物オムカレーです。ふらのオムカレーにはいろいろと決まり事があるようです。

富良野オムカレーとは？

【定義】ふらのオムカレーは国民食のカレーとオムライスを組み合わせ、地元食材と提供スタイルにこだわった新カテゴリーのご当地カレーで現在9店舗が参加しています。

【ふらのオムカレーのルール】

お米は富良野産を使いライスに工夫をおこなう。

卵は原則 富良野産を使いオムカレーの中央に旗を立てる。

富良野産のチーズ・バターもしくはワインを使う。

野菜や肉・福神漬なども富良野産・北海道産にこだわる。

富良野産の食材にこだわった1品と「ふらの牛乳」をつける。

料金は税抜き1300円以内で提供する。（材料高騰の為価格改正後）

以上の決まり事をクリアした店舗それぞれがオリジナリティを出したふらのオムカレーを提供しています。

暑い日のカレーは最高においしくツアーの皆さんも完食されていました。

機会があれば往還の給食でも提供したいと強く思いました。





職員研修



往還研修（4～7月）

● 4月「倫理・法令遵守について」「安全衛生教育」

倫理と法令遵守について学ぶとともに、当法人の法令遵守規程や理念についても目を通す機会を設けました。安全衛生教育では、労働安全衛生の知識を再確認するとともに、日頃から労働災害が起きない行動を心がけるよう促しました。

● 5月「権利擁護・虐待防止のための研修」「事故発生防止のための研修」

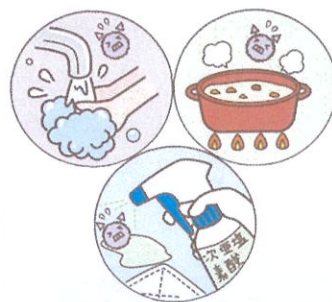
人権や権利擁護に関する制度、虐待の実際や不適切ケアなどについて、研修を行いました。事故発生の研修では、事故発生防止につなげるため、リスクマネジメントの考え方や重要性、流れなどを確認しました。

● 6月「食中毒とその対処法」「ノロウィルスの対応」

食中毒に関しては、種類や特徴、予防や対策のしかた等を再確認するとともに、食中毒が疑われる症状が出た際の対応をシミュレーションしていただきました。また、ノロウィルスの可能性が疑われる嘔吐をされた場合にどのように行動するのか。介護職員が物品を使いながら説明することで対応を再確認していただきました。

● 7月「身体拘束等の適正化のための研修①」

往還ではやむを得ない場合を除き、身体拘束は禁止しています。身体拘束の具体的行為や拘束をしてはいけない理由、やむを得ない場合の例外三原則（生命や身体の危険が著しく高い・他に手段がない・拘束が一時的である）などをきちんと知ってもらい、身体拘束しないだけでなく、人としての尊厳を守りながら、基本的なケアをサポートしていく重要性を学びました。



身体拘束の代わりにする取り組みが必要

事故を最小限にする工夫



正しい知識や技術の習得

